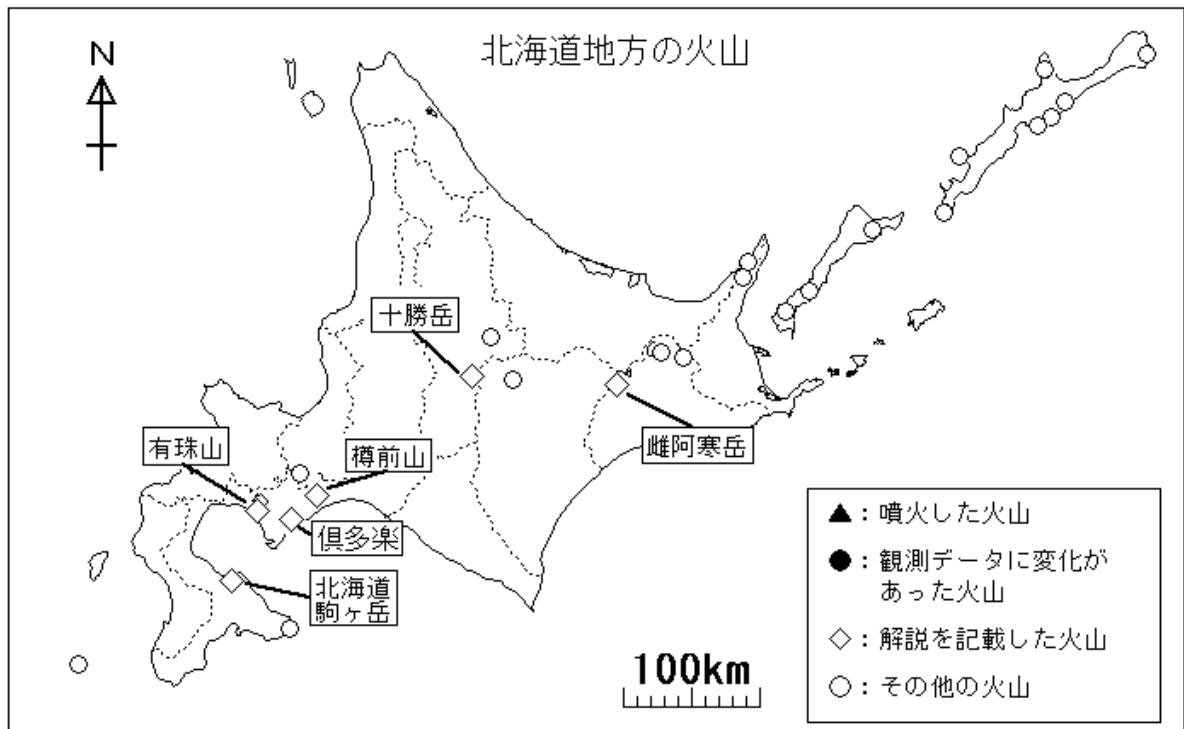


北海道地方の火山活動解説資料(平成14年10月)

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



雌阿寒岳 : 観測データに大きな変化はなく静穏に経過しました。1999年以降ポンマチネシリ 96-1 火口の熱的活動は低下する傾向が認められますが、引き続き高温状態を維持しています。また、時折地震活動が活発化することがあります。

十勝岳 : 62-2 火口は活発な噴煙活動が続くなど火山活動は高いレベルを維持しています。

樽前山 : 今期間、顕著な地震増加などはありませんでした。1996年以降地震活動が活発化しており、A火口をはじめドーム周辺では熱的活動が活発な状態となっていることから、火山活動の推移に注意が必要です。なお、全磁力観測では昨年从今年にかけて山体内部の熱的活動が更に活発化したようなデータは認められませんでした。

俱多楽 : 日和山や地獄谷では噴気活動が続いており、大湯沼などでは熱水活動が続いています。

有珠山 : 火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳 : 地震増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められません。しかし、今年2月以降山体のやや深いところを震源とする地震が時々発生していることから、火山活動の推移を注目する必要があります。

次の火山活動解説資料(平成14年11月分)は12月6日に公表します。
 (札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)
 (気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)